

1982年9月20日

ジャック クレアマン弁護士
121東61街
ニューヨーク

親愛なるミスタークレアマン

9月10日、私がシルヴァン ブッシュに貴方の住所を尋ねた時、間違った住所を教えられた事は、今にして思えば驚くに足る事ではないのですが、今日急に思い立って、貴方の事務所に電話をした結果、正しい住所は121東61街で、同封の手紙をご覧下されれば、お分かりですが、122ではない事が分かりました。手紙の内容を十分に理解していただくために、同封の9月11日付の、ゼロック コピーを先に読んで下さい。その次にこの報告書を読んでいただければ、その間に起った事情もお分かりいただける筈です。

9月14日火曜日、禅スタディ ソサイエティ委員会が開かれました。- 9月14日付手紙のコピー参照 - この会議で島野氏は、はっきりと、辞職し日本へ帰ると約束したのですが、これが嘘である事に気付かず、後に、島野氏と彼の妻には辞職の意思など無かった事が分かった段階で、ミスター フランク ロシセロは島野氏と彼の妻は委員会によって除名されるべきであると申し出ました。この案は、ミセス ペギー クロフォードも賛成しました。ミセス バンキエは島野氏をきっぱりと辞職させるべきか、長期休暇を与えるべきかの二案を提示しましたが、後者をとりました。ミスター ブッシュは、■■■■ と ■■■■ ■■■■ と島野氏との性交渉が問題化した時、二度とこのようなスキャンダルを繰り返さないために、以後彼を支持しないと、先週の水曜日私のアパートで約束し、さらに島野氏が“辞職し静かに去って” くれる事を祈ると言ったにも関わらず、この会議では態度を一転して、島野氏を批判する発言は一言もありませんでした。私が委員長席を辞任した直後、彼はもとの職に復帰しました。この委員会の前の日曜日行われた島野氏の提唱、説教の折、ミスター ブッシュは20年間島野氏を支持した功績により、特別の絡子を授けられるであろうとの発表もありました。(もし、彼が引き続きグッド ボーイであれば) ミスター リー ミルトンと、ミスター デヴィッド シュナイアーは、島野氏によって去年委員会に適用され、それぞれ大菩薩禅堂とニューヨーク禅堂内に住居を与えられ、島野氏より金をもらって、他の収入は全く無しに生活している人物なのですが、彼らが島野氏を支持するのは驚くにあたらないことです。ミスター シュナイアーの言い分は、“ところで、彼はまだ誰も強姦はしていないよ” という訳で、島野夫妻はこの職場に残ることに決まりました。貴方もご存知のように、私は今年の7月31日に、島野夫妻の行動に愛想をつかし、彼の師である宗淵老師に対する態度の酷さに絶望して、委員会を辞職しました。ミスター ロシセロは、既に委員会を辞し、他の多くのメンバーもニューヨーク禅堂を去りました。ミセス クロフォードは、しばらく委員会に残り、内部から島野氏を辞職に向かわせるため働くという路を選びました。

こんな手紙を差し上げて、ご迷惑をかけ申し訳なくと思いますが、私は貴方がこれらの事情を了解され、禅スタディ ソサイエティに関する記録を正しくご覧になるべきだとおもうからです。

敬具

ジョージ ザウナス